

令和7年度 青少年国際交流を通して国際社会や地域社会への貢献を考えるつどい
中国ブロックイベント(広島県)



Hiroshima Dialogue for Peace Action

2025.12.13 SAT — 13:00~

受付開始は12:30~

広島国際会議場 小会議室 ラン(広島市中区中島町1-5/平和記念公園内)

↙申込はこちら↙



第1部

- 12:30~13:00 受付
- 13:00~13:10 第1部開会式
- 13:10~14:40 基調講演・WS
- 14:40~14:50 休憩・会場移動
- 14:50~16:30 分科会
- 16:30~16:40 休憩・会場移動
- 16:40~16:50 第1部閉会式

第2部

- 16:50~16:55 第2部開会
- 16:55~17:30 ティー＆ダイアローグ
- 17:45~19:00 懇親意見交換会
(※有料、希望者のみ)
- 19:00~19:10 第2部閉会

主催: 内閣府

共催: 日本青年国際交流機構、広島県青年国際交流機構

運営事務局: (一財) 青少年国際交流推進センター

中国ブロックイベント実行委員会

後援: 広島県

主催: 日本青年国際交流機構

共催: (一財) 青少年国際交流推進センター

広島県青年国際交流機構

運営事務局: 中国ブロックイベント実行委員会

協力: 内閣府



Hiroshima Dialogue for Peace Action

今年、広島は被爆から80年の節目を迎えました。

この80年間における広島の平和に向けた取組は、国際社会において多くの共感と注目を集めてきました。一方、年月の経過とともに、戦争を知る世代の高齢化が進み、今後どのように取組を継承していくかが早急に取り組むべき重要な課題となっています。

本イベントでは、戦争を知らない広島の若者世代が、国際社会や地域社会に対してどのような貢献ができるのか、また、その中で国際交流が果たすことのできる役割は何か、参加者同士の対話を通じて考えます。

第1部

13:00~16:50

自分を知り、世界を変える

—ヒロシマが、私たちができることを考える—

基調講演

被爆三世である住岡健太氏を講師に迎え、G7広島サミットパートナーズプログラムでの経験も踏まえ、地域で行っている平和構築に向けた具体的な活動や、若い世代がアクションを起こすためのヒントについてお話しいただきます。

登壇者



住岡健太(すみおか けんた) 氏

NPO法人Peace Culture Village専務理事 / 株式会社PLAY SPACE創業者

広島市出身の被爆三世として、幼少期から祖母の体験を聞き「平和とは何か」を探求してきた。25歳で起業し、「平和をつくる仕事をつくる」を理念に平和教育や事業創造を展開。独自プログラムを71カ国・延べ8万人へ提供。

2023年G7広島サミット「次世代平和シンポジウム」ではモダレーター兼スピーカーを務め、2025年大阪・関西万博では「PEACE CONVERGENCE」を企画するなど、国内外で次世代に平和文化をつなぐ活動を続けている。

分科会

Dialogue A

基調講演で得た学びを深め、「未来」に向けて私たちが具体的に何ができるか、その中で国際交流が果たせる役割は何か、少人数グループで対話しながら考えるワークショップ

Dialogue B

NPO法人PCVの「ピースダイアログプログラム」を通して、広島のU-29世代ガイドによる平和公園視察で、若い世代の平和活動を肌で感じる体験プログラム

第2部

16:50~19:10

つながりから生まれる未来への行動

—具体的なアクションに向けてつなげる—

ティー&ダイアローグ

第1部を通して考えたことを自由にシェアしながら、参加者同士のネットワークを深め、更にもう1歩、具体的なアクションに近づけていきます。

懇親意見交換会(※有料・希望者のみ)

別会場にて、食事をしながら参加者同士の絆を深めます。

